

外国人防災リーダー育成研修

近年、日本各地で地震や台風などによる自然災害が多発する中、日本語能力や災害に関する知識が充分でない外国人は災害弱者になる可能性が高いことが指摘されています。こうした状況を踏まえ、香川県では、災害の基礎知識を持ち、情報収集や発信など、災害時の外国人住民への情報伝達を担う外国人防災リーダーを育成する研修を実施します。

日時・内容

参加費
無料

	第1回	第2回
日時	令和6年2月18日(日) 13:00~17:00	令和6年3月3日(日) 13:30~17:00
場所	アイバル香川(高松市番町1-11-63) 香川県防災センター(高松市生島町689-11)	香川県庁本館12階第1・2会議室 (高松市番町四丁目1番10号)
内容	(1) 講義 「香川県の地勢と災害リスク」 (2) 講義 「外国人防災リーダーに期待する役割」 (3) 救援体験等 ・避難所体験 ・ハザードマップ体験 など (4) 災害体験【於:香川県防災センター】 ・地震体験・煙避難訓練 ・暴風体験・消火体験 など	(1) 講義 「外国人防災リーダーの活動」 実際に活躍されている防災リーダーの話を聞き、リーダーの活動について理解します。 (2) 講義 「香川県における災害時の外国人対応」 (3) 防災ワークショップ 避難所で想定される活動(外国人被災者への情報伝達、避難所運営者とのコミュニケーション支援など)について理解を深めます。

第2回 講師紹介

高木 和彦(たかぎ かずひこ)氏

(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事
岐阜県関ヶ原町生まれ。1992年に滋賀県入庁。2001年9月から約1年半、姉妹州のあるブラジルに駐在。
2007年の新潟中越沖地震に外国人被災者支援活動に参加した後、2009年には(特活)多文化共生マネージャー全国協議会の副代表理事に就任。その後2011年の東日本大震災、2016年の熊本地震などの大規模災害発生時に設置された多言語支援センターの運営において、中心的な役割を担う。

譚 俊偉(たん しゅんわい)氏

岡山県総社市 人権まちづくり課 国際交流推進係
1973年ブラジルサンパウロ生まれ。1996年に日系2世の妻と来日。ゴルフ場キャディー、工場での通訳、総社市のポルトガル語相談員を経て、市の職員となる。
2011年のブラジル豪雨の際、国際医療NGO「AMDA」(岡山市)の職員とともに現地に派遣された。
2013年から総社市の「外国人防災リーダー」を務め、自身のSNSでも積極的に外国人住民のための情報発信を行っている。

対象 ✓ 日本語での会話が可能な外国人住民で、

- コミュニティで中心的役割を担う方
- 地域の防災に関心のある方
- SNSでの情報収集や発信が得意な方 など

✓ 災害時通訳等ボランティア登録者(外国人住民)

✓ 外国人参加者をとりまとめいただいた団体の担当者

参加者には、
非常食を無料でプレゼント!



定員 24名程度

申込方法

2月5日(月)までに、別紙参加申込書に必要事項を記入のうえ、郵送、FAX等で下記までお送りください。
電話、メールでのお申込みも可能です。

○お問合せ・お申込先

香川県総務部知事公室国際課 〒760-8570 高松市番町四丁目1番10号

TEL:087-832-3027 FAX:087-837-4289 E-mail:kokusai@pref.kagawa.lg.jp